

記者発表資料
令和4年7月1日（金）
宮城県多賀城跡調査研究所研究班
担 当 ^{ふるた}古田和誠・^{やない}矢内雅之
電 話 022-368-0102
現場携帯電話 090-6257-0949
tagajo_lab@pref.miyagi.lg.jp

だいきちやまかわらかまあと

大吉山瓦窯跡第2次発掘調査現地説明会の開催について

当研究所の調査研究活動につきましては、日頃から御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当研究所では、令和4年度事業として、5月16日から大崎市教育委員会と共催で大吉山瓦窯跡第2次発掘調査を実施しております。

このたび、その成果がまとまり、7月23日の一般公開に先立ち、下記のとおり報道機関の皆様を対象に公開発表をいたしますので、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 報道機関公開 令和4年7月 7日（木）午後1時30分から（雨天決行）
一 般 公 開 令和4年7月23日（土）
①午前10時30分から、②午後2時から（小雨決行）
- 会 場 大崎市古川小林字浦越地内 大吉山瓦窯跡第2次発掘調査現場
駐車場から発掘調査現場まで徒歩で約10分かかります（別添地図参照）。
- 説 明 者 宮城県多賀城跡調査研究所 古田和誠 矢内雅之
- 調 査 内 容 別紙資料を参照ください
- そ の 他 発掘調査現場は山林内で、足場も悪い状態ですので、長靴等の汚れても構わない靴で御来跡ください。

大吉山瓦窯跡第2次発掘調査の成果について

調査の目的

宮城県多賀城跡調査研究所では、多賀城跡の調査と併行して、多賀城に関連する城柵官衙遺跡と生産遺跡の調査を5ヵ年計画に基づいて実施しています。平成16年度から大崎地方に偏在する多賀城創建期（第I期）の窯跡群の実態の解明と、その保存・活用を目的として調査をしています。平成23年度以降は、東日本大震災による県内復興事業を優先させるため事業を休止していましたが、令和3年度から事業を再開しています。令和4年度は昨年度に引き続き、大崎市古川の大吉山瓦窯跡を対象に調査を行っています。

大吉山瓦窯跡は昭和47年頃の農道工事の際に窯が発見され、昭和51年度には多賀城創建期の瓦窯として国史跡に指定されました。昨年度の第1次調査で、南西斜面に8基の窯と3か所の灰原を確認しています。今回の調査では、指定地の東部を対象に、窯の規模・構造・年代や窯同士の新旧関係等を把握することを主な目的としています。

調査成果

指定地の東部で5基の窯と2か所の灰原を確認し、窯の規模・構造・年代や窯同士の新旧関係が捉えられました。窯や灰原からは多量の平瓦を中心に軒平瓦、軒丸瓦、鬼板、丸瓦など各種の瓦が出土しており、本窯跡で焼成されたとみられます。出土した瓦のうち、蓮花文の刻印を列状に施した平瓦は特徴的なもので、県内では初の出土例となります。

大吉山瓦窯跡の本格的な調査は今回が初めてで、窯の規模・構造・年代などが捉えられたことは本窯跡の変遷を考えるうえで重要な成果であり、多賀城を中心とした当時の瓦の生産体制、工人集団や技術の移動などを考えるうえでも貴重な資料となります。



窯の調査状況（北から）



蓮花文刻印平瓦
(長さ約30cm, 幅約28cm)



文様詳細



会場
大吉山瓦窯跡

向三丁目多目的
集会所 (駐車場)

「日光山」の看板
を左折

「日光山」の看板
を右折

現場・駐車場の場所

- ・国道4号から
 - ①国道47号を鳴子温泉方面へ
 - ②県道59号を一迫方面へ
- ・東北自動車道古川ICから
国道47号を鳴子温泉方面へ

※近隣住民の迷惑になりますので、
路上駐車はご遠慮下さい。

東北自動車道
国道47号
県道59号

①
②